



TITLE:

南洋新占領地研究ノ一やっぶ島研究

AUTHOR(S):

山本, 美越乃

CITATION:

山本, 美越乃. 南洋新占領地研究ノ一やっぶ島研究. 經濟論叢 1915, 1(3): 405-423

ISSUE DATE:

1915

URL:

<https://doi.org/10.14989/126896>

RIGHT:

京都帝國大學法學科大學

經濟論叢

第三號

第一卷

論說

●染料藥品生產獎勵制度

●經濟學認識論ノ若干問題(一)

●營業利益課稅新案

●貧富問題(二)

雜錄

●官業整理ト財政

●南洋新占領地研究ノ一やっぶ島研究

●享保年間ノ米價調節(二)

●收益遞減ノ法則ノ擴張

雜報

●獨逸ノ戰時經濟組織

●獨逸經濟ノ軍國主義化

●佛蘭西ノ農産擔保貸付法

●近時米國ニ於ケル婦人ノ職業ノ變遷

●獨身者ノ組合運動

●收穫ノ増減ト價格ノ變動

●すまゝと教授逝ク

法學博士 戸田 海市

商學士 左右田喜一郎

法學博士 神戸 正雄

法學博士 田島 錦治

法學博士 小川 郷太郎

助教授 山本 美越乃

法學士 本庄 榮治郎

法學博士 河上 肇

法學博士 神戸 正雄

法學博士 小川 郷太郎

助教授 河田 嗣郎

法學博士 河上 肇

法學博士 神戸 正雄

講師 高田 保馬

法學博士 河上 肇

南洋新占領地
研究ノ一

やつぶ島研究

助教授 山本美越 乃

南洋新占領地ハ之ヲ大別シテ、まりゐる(東經百四十四度半乃至四十六度北緯十三度乃至二十一度ノ間ニ羅列セル主要島數約十四ノ火山岩島ニ依リテ成リ、其ノ總面積約四十一平方里)かりん(東經百三十一度乃至百六十四度北緯二度乃至十度ノ間ニ散在セル、主要島數約六百六十ノ火山岩島及ビ珊瑚礁島ヨリ成リ、其ノ總面積約九十六平方里)及ビまーし(東經百六十一度乃至百七十二度北緯四度乃至十五度ノ間ニ北西ヨリ南東ノ方向ニ延長セル、二列ノ珊瑚礁島ヨリ成リ、主要島數約二十八、總面積約二十六平方里)ノ三群島トナシ、かりん群島ハ統轄上ノ必要ヨリ東經百四十八度ヲ界トシテ、更ニ之ヲ東西ニ分チ、まらつゝ、ばなべ及ビくざいノ三島ハ東かりん群島中ノ首位ヲ占メ、やつぶ、ばらう及ビあんがうる島ハ、西かりん群島ノ主島ヲ以テ目セラル、就中やつぶ島ハ經濟上及ビ社會上ヨリ觀察シテ、諸種ノ興味アル研究問題ニ富メルヲ以テ予ハ先ツ茲ニ該島ノ事情ヲ紹介シ、後日機會ヲ得バ更ニ他島ノ事情ニ及バント欲ス。

(一)總説

やつぶ島ハ東經百三十八度十分、北緯九度三十分ニ位シ、四大島ト十餘ノ小島嶼ヨリ成ル、本島ヲやつぶ(Yap) (一般ニやつぶト稱スル)ト稱シ南方ニ在リ、是レト相對シテ北方ニあるもん(Rumung)・ちんぶ(Map)・さみる、がきる(Tonil-Gagin)等ノ諸島點在ス。全島主トシテ角閃岩ニ依リテ成リ、周圍ハ珊瑚礁ヲ以テ圍マレ、總面積約十三平方里ニシテ、其ノ概形不等邊三角形ヲナセリ、島内ニハ北東ヨリ南西ニ走ルニ二百米内外ノ山丘アルモ、河ト稱スベキモノハ殆ンド無ク、從テ天水ノ外淡水ヲ有セズ(僅カニリギン村ノ海岸ニ於テ淡水ノ湧出スル所一箇所アリト云フ)地味ハ概シテ不毛ニシテ。唯海岸一帯ノ地ノミ稍良好ナリト稱セラル。本島唯一ノ港灣ハさみる港(Tonil)ニシテやつぶノ東南ニ位シ、

港内水深ク且相當ノ面積ヲ有スルヲ以テ、三千噸内外ノ船舶ヲ優ニ七八隻碇泊セシムルニ足ル、同港ハ又やつぶヲ南北ニ分チ、政廳・教會及ビ外人ノ居住地ハ其ノ境上ニ在リ、獨蘭海底電信會社・北獨ろいど會社及ビ我ガ南洋貿易會社ノ支店等モ亦此ノ地ニ設ケラル。氣候ハ一年ヲ通ジテ平均溫度華氏八十一度ニシテ、一月ノ七十二度ヲ最低トシ、六月ノ九十度ヲ最高トス、一日ノ高低差ハ五度内外ナリ、十一月ヨリ翌年四月迄ハ北東貿易風ノ時期ニシテ、其ノ他ハ風向一定セズ、雨量ハ晩夏ヨリ初秋ニ至ル間ニ最モ多ク、地震其ノ他ノ變災ハ稀レナルモ、時トシテハ颱風ノ發生スルコトアリ。外國トノ交通ハ從來主トシテ北獨ろいど會社及ビやるーど會社所有ノ汽船ニ依リテ行ハレ、前者ハ橫濱・香港等ヲ經テしどにーニ到ル濠洲航路ノ汽船ヲシテ寄港セシメ、後者ハ獨逸政府ノ保護ノ下ニ、香港ヨリ東西かろりん及ビまーしやる群島ヲ經テしどにーニ到ル、汽船けるまにあ(一〇九六噸ニシテ、政府ヨリ年額一萬二千馬克ノ補助金ヲ受ク)ヲ毎年六回寄港セシム、又我ガ南洋貿易會社所有ノ帆船ハ、橫濱ヲ基點トシテ年三回來島スルヲ常トシ、其ノ他不定期船ノ毎年一回乃至二回來島セルモノアリ。郵便ハ是等ノ船便ニ依リ、電信ハ一九〇六年ニ設立セラレ本島・上海・米領ぐあむ・蘭領めなど等ヲ連絡營業セル獨蘭海底電信會社、及ビ一九一三年設立ノ南洋無線電信會社ニ依リテ取扱ハレタリ。

(二)島治一班 本島ハ西班牙ノ領有時代ニ於テハ、統治上毫モ見ルニ足ルベキモノナク、官吏ハ有名無實ニシテ、殆ンド土民ノ自由ニ放任シ、島内ノ行政ハ全ク酋長等ニ一任シテ顧ミザリシモノノ如ク、從テ賭博賣淫等ノ風盛ンニ行ハレ、甚シキニ至リテハ官吏自ラ住民ト伍シテ、或ハ黃白ヲ爭ヒ或ハ婦女ヲ弄フ等紊亂度ナカリシガ、一ト度獨逸ノ領有ニ歸スルヤ、從來ノ面目ヲ一新

シ、道路ノ修築・病院ノ設置・水路ノ開鑿・土地ノ開墾等ニ注意スルト共ニ、惡風ノ改良・税法ノ制定及ビ土民ニ對スル酋長ノ權限ノ縮少等ニ力ヲ用ヒ、現今ニ於テハ酋長ハ單ニ一行政吏ニ過ギザルガ如キ觀アラシムルニ至レリ。

由來本島ニハ八人ノ大酋長アリテ、百〇五箇ノ部落ヲ支配シ、是等ノ部落民ハ又大體ニ於テ、自由民及ビ賤民ノ二階級ニ分レシガ、各酋長等ハ互ニ勢力ヲ爭ヒ、鬭爭侵略止ムコトナカリシニ獨逸ノ領有ニ歸シテヨリ以來、酋長間ノ紛爭ハ必ラズ政廳ノ裁斷ヲ仰ガシメ、彼等ノ任意的解決ハ之ヲ禁止スルノ方針ニ出デシカバ、近時ニ至リテハ全ク爭議ノ跡ヲ斷チ、互ニ融和シテ平和的ノ生活ヲ樂シムニ至レリ、然ルニ其ノ後酋長ノ勢力ニ自ラ變動ヲ來セシコリ、政廳ハ全島ヲ十管區ニ分チテ、更ニ二名ノ大酋長ヲ命ジ、又ちやむる村ニハ別ニ一人ノ村長ヲ置キテ、之ヲ統轄セシムルコトトナセリ、大酋長ノ下ニハ各部落毎ニ必ラズ一人ノ小酋長アリテ該部落ヲ統轄ス。

大酋長ハ世襲的ニシテ父子相繼グト雖トモ、小酋長ハ衆議ノ結果、最モ人望アル者ヲ選ミテ之ニ任ズ、大酋長ハ部下ノ土民ニ對シテ、刑ノ宣告及ビ執行ヲ爲シ、課稅權ハ勿論立法ノ大權ヲサヘ之ヲ保有シタルモ、小酋長ハ當該部落ノ會議ヲ主宰シ、道路ノ修繕及ビ他部落トノ宣闘媾和ヲ決シ、其ノ他大酋長ノ命令ヲ實行スルノ權限ヲ有シタリ、然ルニ獨逸政府ハ是等ノ酋長ヲ巧ミニ利用シテ、自己ノ一行政機關トナシ、各管區及ビ各部落ノ大小酋長ヲ以テ一ノ協議會ヲ組織セシメ、行政問題及ビ宗教問題ハ、政廳官吏ノ指揮ノ下ニ一應之ヲ其ノ議ニ附シ、然ル後各酋長ヲシテ、自己ノ責任ヲ以テ其ノ實行ニ當ラシム、又土民間ニ發生シタル事件ハ、過チナカラシメンコトヲ期スルガタメニ、假令細事タリトモ、政廳内若クバ政廳ノ指定シタル場所ニ於テ解決セシメ

殊ニ結婚・離婚・出產・死亡・家畜及び有要植物ノ病害・疾病等ニ關シテハ細大漏サズ政廳ニ報告セシム、故ニ現今ハ大酋長ノ權限ハ全ク昔日ト異ナリ、政廳及ビ土民ノ中間ニ介在シテ、或ハ命令ヲ傳達シ、或ハ之レガ實行ノ責任者タルニ過ギザルニ至レリ。此ノ如クニシテ獨逸政府ガ、一方ニ於テハ植民地官吏ノ數ヲ成ルベク減少シテ、政費ノ節約ヲ計ルト共ニ、他方ニ於テハ比較的統治ノ實績ヲ舉グルニ易キ酋長ヲ利用セントスル、一舉兩得ノ方法ヲ採用シタルコトハ、新占領地ノ統治ニ關シテ、須ラク我が當局ノ省察ヲ要スベキ點ナリト考フ。

(註一) 今參考ノタメやつお島ニ於ケル獨逸政廳ノ組織ヲ示セバ左ノ如シ。

やつお政廳ハやつお・ばらう・あんがうる及ビさいげんノ諸島ヲ統轄シ、知事一名(古領當時ハ臣ナベ政廳知事ヲ兼ねばなベニ在勤セルヲ以テやつおニハ代理書記官ヲ置ク、知事ハ又司法官ヲ兼ね、書記官一名(知事代理)、醫官一名事務官一名(郵便部長ヲ兼ね)、(以上高等官)。警察部長一名、病院助手一名、雇土人監督者一名。

(註二) 而シテ一九一三年度ニ於ケルやつお政廳ノ豫算額ハ左ノ如シ。

歲入總額 五四・二八〇馬克	營業稅 八・六〇〇馬克、(内、西わろりん會社ノ六・〇〇〇馬克及ビ我が南洋貿易會社ノ二・二〇〇馬克ヲ主ナルモノトス)	入頭稅 一三・四〇〇馬克、(内、白人一・四〇〇馬克、土人一二・〇〇〇馬克)	輸入稅 一七・九五〇馬克	煙草類 六・七〇〇馬克 酒類 七・七五〇馬克 其他 三・五〇〇馬克	輸出稅 四・六〇〇馬克	高瀬貝 九〇〇馬克、 こぶら三・七〇〇馬克、 ふらハ西わろりん會社所有ニ カカルやつお以外ノ諸島ノ分 ヲモ合算計上シタルモノナリ
關稅 一二・五五〇馬克、(内)						

歲出總額 一一〇・四〇五馬克

其他ノ收入	行政費	病院費	雜費
九・七三〇馬克、(内、裁判所手数料一・五〇〇馬克、罰金五〇〇馬克、船舶手数料三・〇〇〇馬克、營業許可ニ關スル手数料二・〇〇〇馬克、勞働者募集ニ關スル手数料三・九〇〇馬克、總稅二・五〇〇馬克、土地賣却及賃地料七三〇馬克、病院收入八五〇馬克、診察料一・五〇〇馬克)	五七・八八五馬克、(内、行政官俸給一八・〇一〇馬克、醫官俸給一四・七六〇馬克、其他官廳雇員給料八・五一五馬克、雇士人費一六・六〇〇馬克)	七・五〇〇馬克	四五・〇二〇馬克、(内、獨逸語普及費四・〇〇〇馬克、營繕費五・〇〇〇馬克、道路修築費三・六〇〇馬克、開墾及測量費四・七〇〇馬克、旅費日當六・〇〇〇馬克、土人兵食料被服費四・一二五馬克、裁判費三・五二〇馬克、通信運搬其他諸雜費四・六七五馬克等ヲ主ナルモノトス)

註三

(一) 土民ノ教育ニ關スル件

學校教育ハ土民ノ進歩發達ヲ期スルト共ニ之レガ統治ヲ容易ナラシムベキ唯一ノ手段タリ、故ニ生徒ノ登校ニ關シテハ政廳ハ勸誘努力ヲ怠ラズ、又教師ト協力シテ獨逸語ノ普及ニ努メ、殊ニ酋長ノ子弟ハ必ラズ學校ニ入ラシメ、將來酋長トナルニ必要ナル素養ヲ作ラシム。又教科書ノ編成ニ際シテハ書中ニ行政上必要ナル事項ヲ網羅センコトニ注意シタリ。

(二) 勞働ニ關スル件

土民ノ勞働期ト舞師期トナ大體ニ於テ區別シ、前者ヲ七ヶ月、後者ヲ五ヶ月ト定ム。舞師ハ彼等ニ快樂ヲ得セシムル點ヨリ全ク之ヲ禁壓スルコトヲ爲サズ、唯勞働期ニ於テ之ヲ爲ス者ハ罰トシテ相當ノ勞働ヲ課シ、椰子ノ植付及ビ害虫ノ驅除ニ付キテハ政廳自ラ其範ヲ示シ必ラズ一人ニ付一ヘクタールノ椰子畑ヲ有セシメ、種子・苗床ノ選擇植付ノ距離等ニ關シテハ、政廳之ヲ定メテ指導獎勵シ、又道路ノ補修井ニ掃除等ハ假令勞働期ニアラザルモ、住民ヲシテ各自其受持ニ應ジテ之ヲ行ハシム。更ニ又土民ヲシテ勞働ノ習慣ヲ養ハシムルト共ニ、彼等ノ收入ヲ増加セシメントスル目的ヲ以テ、椰子賣ハ必ラズ之ヲセらトシテ商人ニ賣却セシメ、又建築及ビ石貨ノ製作ニ

無益ノ勞力ヲ費ヤスコトナカラシメンガタメニ、政廳ハ百五十人ヲ限リテ土民ニ建築方法ヲ教授スルノ方針ヲ採レリ。

(三) 身分ニ關スル件

結婚セント欲スル者ハ酋長ヲ經テ双方ヨリ政廳ニ届出デ、醫師ノ體格検査ヲ受ケタル後之ヲ許シ、離婚セントスル時ハ當事者双方酋長ト共ニ政廳ニ出頭シ、其旨ヲ告ゲテ許可ヲ受クルコトヲ要ス。両親又ハ親族タリトモ有夫ノ女子ニ離婚ヲ迫リ、若クハ他所ニ同行スルヲ得ズ、又寡婦ハ亡夫ノ兄弟ト結婚スルコトヲ許サズ。養子ヲナサントスル者ハ酋長ノ許可ヲ受クルコトヲ要シ、幼年者ノ許嫁及ビ一夫多妻ハ之ヲ禁ズ。

(四) 財産ニ關スル件

土地ノ賣買、貸借ハ政廳ノ許可ヲ受クルニアラズ、之ヲ爲スコトヲ得ズ。土地財産等ハ嫡子之ヲ相續スベキモノトス、但シ其ノ一部ヲ他ノ子女ニ分配スルハ妨ガナシ。女子ハ土地ノ相續權ヲ有セズ、但シ寡婦ハ再婚スル迄ハ亡夫ノ土地ヲ所有スルコトヲ得、又リ一夫ハ土地ト同様ノ取扱ヲ受クベキモノトス。

(五) 風儀ニ關スル件

姦通者又ハ處女ヲ汚シタル者ハ頭髪ヲ斷チテ四箇月ノ禁錮ニ處スベク、大酋長ト雖トモ他人ノ妻ヲ犯スコトヲ得ズ。墮胎者及ビ之レガ幫助者ハ一箇年以上ノ禁錮ニ處ス。妊婦ハ醫師ノ診察ヲ受ケタル後ニアラザレバ旅行スルコトヲ得ズ、又分娩後二箇年間夫婦同棲セザル習慣ハ長キニ失スルヲ以テ、之ヲ三箇月ニ改メシムルヲ要ス。未成年者及ビ未ダ月經ヲ見ザル女子ハ喫煙ヲ爲シ、若クハ檳榔子ヲ嚙ムコトヲ許サズ。

(六) 酋長ニ關スル件

酋長ハ之ニ代ルベキ適當ノ人物ヲ得ル迄ハ濫リニ變更スルコトヲ得ズ。大酋長ハ全島酋長會議

ノ決議ヲ經ルニアラズンバ之ヲ更迭スルヲ得ズ。酋長ニハ其ノ威嚴ヲ保タシメンガタメニ成ルベク之ニ處罰ヲ加フルコトナク、懇切ニ指導スルノ方針ヲ探ルベシ。酋長ニハ公共的ノ事業ヘタメニ部下ノ土民ヲ使役スルノ權限ヲ有セシム。凡ソ一切ノ行政事項ハ酋長ノ協力ヲ俟ツニアラズンバ其ノ實效ヲ收メ難キヲ以テ之レガ施行ノ時機及ビ順序ニ關シテハ特ニ注意ヲ要ス。

(七) 雜件

凡テ訴訟事件ハ土民間ニ於テ私ニ之ヲ決裁スルコトヲ許サズ、又訴訟ニハ通譯以外ニ辯護ヲ禁ズ。賤民ト雖トモ自由民ト同一ノ權利ヲ有セシムベク、又一切ノ土民ハ酋長ヲ經ズシテ直チニ政廳ニ出頭シ直接自己ノ權利ノ保護ヲ仰ケコトヲ得ベシ。

(三) 住民ノ概況

本島ノ住民ハ少數ノちやむろ人及ビまにら人ヲ除ク外ハ、所謂かろりん人タルやつぶ土人ニシテ、ちやむろ人及ビまにら人ハ數十年前ニ此地ニ移住シ、互ニ雜居シテ一ノ部落ヲ成セリ、土民ハ比較的地味ノ肥沃ナル海岸地方ニ百〇五箇ノ部落ヲ形造リ、椰子實及ビ芋類ヲ常食トセル裸體ノ未開人タリ。

既ニ述ベタルガ如ク本島ノ土民ハ、自由民及ビ賤民ノ二階級ニ分レテ互ニ雜居スルコトナク、賤民部落ハ其ノ數廿七ニシテ各大酋長ニ分屬シ、四部落ヲ除ク外多クハ山間ニ住ス、賤民ノ起原ニ關シテハ史實ノ徵スベキモノ無キガ故ニ之ヲ詳カニセズ、或ハ他島ノ移住者ノ子孫ナリト稱シ或反對ニ他島ノ移住者ニ依リテ征服セラレタル土民ノ後裔ナリト云ヒ、又ハ昔ヘ貢ニ代ヘテ酋長ニ納メタル土民ノ繁殖シテ今日ニ至レルモノナリト稱スル等、諸說紛々トシテ一定セズ、然レトモ要スルニ彼等未開ノ種族間ニ在リテモ、尙ホ優勝劣敗ノ自然ノ法則ハ之ヲ免ルルコト能ハズシテ、終ニ斯カル階級ヲ生ゼシムルニ至レルモノタルノ一事ハ之ヲ疑フベカラズ。蓋シ賤民ハ自由

民ニ比スル時ハ、一般ニ其體質及ヒ智力ニ於テ劣ル所アルハ否ムベカラザル事實ナルヲ以テナリ。更ニ又自由民及ビ賤民中ニ於テモ自ラ階級的ノ區別存シ、即前者ハ五級ニ後者ハ二級ニ分タル。是等ノ小階級ハ往時彼等ノ間ニ於ケル、鬭争ノ勝敗ニ原因シテ起レルモノニシテ、又一種ノ優勝劣敗ノ結果ニ他ナラス、土民ハ現今ト雖トモ一般ニ階級ヲ重ンズルノ念強ク、殊ニ自由民ノ賤民ニ對スル關係ハ、恰モ我が邦ニ於ケル普通民ノ特殊部落民ニ對スルガ如キモノアリ、例ヘバ自由民ハ賤民ノ所持品ニ手ヲ觸ルルヲ潔シトセズ、又如何ニ飢渴ヲ感スルモ、賤民ノ手ニ成レル物ハ之ヲ口ニスルコトナシ、其ノ他自由民ノ賤民ニ加フル壓迫ハ諸種ノ方面ニ現ハレ、漁具ノ如キモ一定ノ制限ヲ附シ、且ツ自由民ノ食セザル特種ノ魚類例ヘバ鰻及ビ沙魚ノ外ハ絶對ニ漁獲ヲ禁止シ、舞踊・石貨及ビ『ガオ』(貝製ノ首飾)ノ所有ハ、之ヲ自由民ノ特權トシテ賤民ニハ與カラシメズ、賤民ハ永久自由民ノ家屋ニ出入スルヲ得ザルハ勿論、假令同席ノ必要アル場合ト雖トモ自由民ニ接近シテ坐スルヲ得ズ、又酋長ノ爲メニハ毫モ報酬ヲ受クルコトナクシテ、勞働ニ從事セザルベカラザル義務ヲ有ス。然レトモ賤民ノ子弟ノ學校ニ在ル者ハ殆ンド他ト區別セラルコトナシ。要スルニ自由民ノ賤民ニ對スル壓迫ハ寧ロ極端ニ失シ、爲メニ島治ノ統一ヲ缺クノ虞レアルヲ以テ、獨逸政廳ハ夙ニ此宿弊ヲ除去センコトニ努メタリト雖トモ、因習ノ久シキ容易ニ彼等ノ感情ヲ融和セシムルコト能ハザリキ、やつぶ島ノ統治ニ關シテ將來施政者ノ特ニ注意研究ヲ要スベキ問題ナリトス。

(註) 參考ノタメ大正四年二月ノ調査ニ基ツケルやつぶ島ノ戶數及ビ人口ヲ示セバ左ノ如シ、
全島ナ十管區ニ分チ部落數百〇五箇總戶數一・六七八戸

總人口六・四七三人

やっふ土人	六・三〇四人	混血人	九人
ちやむろ人	一〇二人	白人	一三人
比島人	二〇人	日本人	一八人
支那	七人		

(四) 教育及衛生附宗教警察

植民地ニ於ケル土民ノ教育ノ必要ハ、獨逸政府ノ夙ニ認ムル所ナリト雖モ、財政上ノ事情ヨリ政府自ラ積極的ニ其ノ施設ヲ爲スコトヲ許サザルモノアリシヨリ、新占領地方ニ於テハ、土民ノ教育事業ハ之ヲ宗教家ニ委ネ、政府ハ唯其ノ監督保護ノ權ヲ留保シタルニ過ギズ、土民ノ教育ハ既ニ西班牙時代ニ其ノ端ヲ開キシト雖トモ、當時ハ設備ノ不完全トナリシ、教授方法亦當ヲ得ザリシヨリ、却テ土民ニ嫌忌ノ念ヲ生ゼシメ、其ノ效果ヲ擧グルニ至ラズシテ止ミシガ、獨逸時代ニ至リテハ、土民ノ能力ヲ考ヘ秩序的ニ之ヲ教育スルノ方針ニ出デシト、他島殊ニあんがうる島ニ燐礦探掘者トシテ出稼ギセル土民等ノ家郷ニ對スル通信上ノ必要ヨリ、自發的ニ文字ノ價值ヲ認メ、自ラ進ンテ子弟ヲ就學セシメントスルノ風ヲ生ズルニ至レルヨリ、現今ニ於テハ比較的進歩シタルちやむろ族ヨリモ寧ロ文字ニ親シマントスルガ如キ現象ヲ呈シ來レリ、故ニ此機ニ乗ジテ彼等ノ誘掖指導ヲ怠ルナクンバ、多年文化ノ恩恵ニ浴スルコト能ハザリシ無智ノ蠻民ト雖トモ、遂ニ一道ノ光明ヲ認メ得ルニ至ルベキヤ必セリ。

從來土民ノ教育ハ、羅馬舊教ニ屬セル四箇ノ宗教學校之レニ當リ、内一枝(ころに一枝)ヲ除ク外ハ悉クやつぶ土民ノミヲ收容シテ之ヲ教育セリ、是等ノ學校ハ直接やつぶ教會宣教師ノ管理ニ屬シ、更ニばなべ在住僧正ノ統轄ヲ受ク。今學校教育ノ概況ヲ窺フニ、是等ノ諸校ニ於テハ一般普通教育ヲ授クルヲ以テ主眼トナシ、學級ヲ一學級ヨリ五學級ニ分チ、就學年齡ハ通常八歳トシ、

ルモノ如シ、故ニ政廳ハ檢疫ニ不斷ノ注意ヲ怠ラズ、又虎列刺・赤痢・霍亂等ノ惡疫ノ流行ヲ豫防センガタメニ、廁ハ之ヲ海中ニ設ケ、其ノ他家屋・什器及ビ身體ノ清潔法等ニ關シテハ、常ニ全島ニ布告ヲ發シ、時々醫官ヲシテ土民ノ健康診斷ヲ行ハシメ、病者及ビ妊婦ハ施療入院ヲ爲サシムル等、政廳ノ衛生上ニ於ケル注意ハ、頗ル周到ヲ極メタリト雖トモ、其ノ方法ノ強制的ナリシト、醫官ノ警察權ヲ有シタルヨリ、入院ハ恰モ禁錮ニ處セラルルガ如キ感ヲ土民ニ與ヘ、從テ自ラ進ミテ治療ヲ受ケントスルガ如キ者ナカリキ、本島ニハ淡水ノ湧出スルモノナキヲ以テ、雨水ノ使用以外ニ多クハ低地ニ貯溜セル、濁水ヲ飲用スルノ風アルコトハ、土民ノ疾病ヲ多カラシムルニ至レル一原因ナルベシト考フ。

宗教ハはなべ在住ノ僧正ノ監督ノ下ニ羅馬舊教行ハレ、島内ニ箇所ニ教會堂ヲ設ケ、獨逸宣教師自ラ布教ノ任ニ當リツツアリ、やつぶ土民ハ信仰ノ念薄弱ナリト雖トモ、ちやむろ人間ニハ多少見ルベキモノアリ、又其ノ平素ノ行動ニ關シテモ、彼等ハ土民ニ比較スル時ハ良好ナリトス。

警察事務ニ關シテハ、獨逸時代ニ於テハ政廳ノ警察部長土民兵(約四十五人)ヲ指揮シテ公安ノ維持ニ任ジ、酋長又自己ノ責任ヲ以テ廳令ノ實行ニ努メタリ、土民兵ハ時々島内ヲ巡視シテ違反者ノ有無ニ注意シ、犯行アル場合ニハ之ヲ知事ニ具申シテ其ノ判決ヲ仰グ、土民ハ一般ニ思慮淺キガ故ニ、複雜困難ナル問題ヲ生ズルコト殆ンド無ク、多クハ姦通竊盜等ノ單純ナル事件ニ過ギズ。

(五) 經濟的事情

(イ) 產物 海岸一帯ノ地味比較的良好ナル地方ニハ、まんぐろーぶ(材ヲ利用ス、質堅クシテ用途甚ダ多シ、又單寧採取ノ原料トモナル)ヲ初メ、椰子・芭蕉等ノ有用植物生長スルモ、山間

ノ瘠地ニハ僅カニ露兜樹(主トシテ葉及ビ材ヲ利用ス、葉ハ帽子敷物等ノ原料トナル)ヲ産スルニ過ギズシテ、他ハ雜木雜草ノ繁茂ヲ見ルノミ、今本島ニ産スル經濟的植物ノ主要ナルモノヲ擧グレバ、以上ノ他凡ソ左ノ如シ。

たまな(材ヲ建築及ビ造船ノ材料ヲ使用ス)、麴包樹(果實ハ土民ノ食料ニシテ、材ハ主トシテ造船材料ニ使用セラル)、鍛木、棉ノ木、檳榔樹、竹、ガーる(纖維ヲ探リテ網及ビ繩ヲ作ル)、ばいんあつぶる、れもん、まんごー、ばばいや(果實ヲ食用ニ供ス)、其ノ他土民ノ食料タル芋類及諸種ノ藥草類等ナリトス。此内最モ重要ナルモノハ椰子ナリト雖トモ、本島ノ椰子ハ或ハ老齡ニ達シ、或ハ害虫ノタメニ結實セザルモノ大部分ヲ占メ、樹木ノ數ニ比シテ椰子核ノ產額ハ年々減少シツツアリ、故ニ今ニシテ適當ノ植付及ビ害虫驅除方法ヲ講ズルニアラズンバ、將來永久ニ富源ヲ失フノ結果ヲ生ズルニ至ラン、今參考ノタメ西かろりん群島全部ノ椰子ノ產額ヲ示セバ左ノ如シ。

島 名 一 箇 年 產 額 概 算

やつお島 嘗テ七八百噸ヲ產出セシモ現今ハ僅カニ六七百噸ヲ出スニ過ギズ。

もぐもぐ島 四百噸乃至五百噸。

そろーる島 二三十噸。

ふれあい島 四百噸乃至五百噸、一九〇七年ノ颱風ノタメニ多大ノ損害ヲ受ケ產額減少セリ。

いふありつく島 本島モ亦颱風ノタメニ大ナル損害ヲ受ケタリト雖トモ、適當ノ栽培方法ヲ講ゼバ有望ナル產地ノ一タリ。

いうりびつく島 六・七噸。

ふあらうれつお島 四五十噸。

らもそれつくさたわる　　おりまらな及ビ其附近ノ諸島　　百五十噸乃至二百噸。

ぬ　　ぐ　　る　　島　　單ニ土民ノ食料ニ供スル程度ノ產額ニ過ギズ。

めりる、そんそる及ビ其附近ノ諸島　　十五六噸。

椰子ニ次デ本島ノ主要ナル產物ハ水產物ニシテ、殊ニ高瀬貝（眞珠層厚キヨリ優良ナル鈿ノ原料トシテ需要多シ）及ビ海鼠（海參トシテ支那方面ニ輸出ス）ハ其ノ重ナルモノナルモ、過去ニ於ケル產額ハ詳カナラズ、唯僅カニ一九一三年度ニ於ケル獨逸政廳ノ輸出品統計表（後段參照）ニ據リテ其ノ概數ヲ推知シ得ルニ過ギズ、本島ハ比較的廣キ『リーフ』ノ面積ヲ有スルヲ以テ、高瀬貝、蝶貝等ノ棲息ニ適シ、又海鼠類モ其ノ種類尠ナカラズ、其ノ他玳瑁、青海龜等モ棲息セザルニアラズト雖トモ、產額ハ未ダ多シト云フヲ得ズ。海藻類ハ極メテ貧弱ナルモ、魚族ハ其ノ種類甚ダ多シ、然レトモ經濟的ニ之レガ利用ノ途ヲ發見スルコトハ頗ル困難ナリトス。故ニ本島ニ於ケル水產物トシテ經濟上特ニ注意スベキモノハ、貝類及ビ海鼠類ニシテ、是等ト雖トモ其ノ產額ハ決シテ、無限ニアラザルガ故ニ、若シ濫獲酷漁ノ弊ニ陷ルガ如キコトアラバ、數年ヲ出デズシテ全ク之ヲ盡滅セシムルニ至ルヤ明ラカナリ、此點ニ關シテハ將來當局ノ注意ヲ要スルコト頗ル大ナリトス。

（ロ）輸出入貨物　一般ニ新占領地ニ於ケル土民ノ生活狀態ハ極メテ幼稚ニシテ、其慾望亦甚ダ單純ナルガ故ニ、現今ニ於テハ外國品ヲ需要スルコト未ダ多カラズ、又假令之ヲ需要スルモ彼等ノ現狀ヲ以テシテハ、到底高價ナル外國品ヲ購フノ餘力ヲ有セズ、隨テ從來是等ノ地方ニ輸入セラレタル貨物ノ大部分ハ、主トシテ在留外人及ビ比較的富裕ナル少數ノ土民ノ需要ヲ充タシタルニ

過ギズ、故ニ在來ノ輸入統計表ノ如キハ、外人ノ殆ンド其ノ跡ヲ斷タントシツツアル今日ニ於テハ、多大ノ參考價值ヲ有スルモノニアラズ、然トモ土民ノ購買力如何ヲ窺フニ足ルベキ資料存セザルヲ以テ、姑ラク一九一三年度ニ於ケル獨逸政廳ノやつふ島輸入品統計表中ヨリ、外人及ビ土民ノ共ニ需要シ得ベキ貨物ノ輸入額ヲ摘記セバ左ノ如シ。

一九一三年度ニ於ケルやつふ島輸入品總額ハ七二五四九〇馬克ニシテ、其品目ハ凡ソ二十七種ニ分ルルモ、内、外人及ビ土民ノ共ニ需要シ得ベキ貨物ノ輸入額ノミヲ次ニ掲グベシ。

品 目	輸 入					合 計
	獨逸	英吉利	濠洲	亞細亞	亞米利加	其 他
穀物・野菜・果物・麴包粉	507	1040	1040	223	10	220
煙 草 各 種	135	1010	1010	10	10	220
酒 精 飲 料 各 種	135	1010	1010	10	10	220
炭 酸 水・冰・酒精分ヲ含マサル飲料	135	1010	1010	10	10	220
建築用材及ビ薪炭類	135	1010	1010	10	10	220
肉 類 各 種	135	1010	1010	10	10	220
石 油 類	135	1010	1010	10	10	220
蠟燭・石鹼・蠟油類	135	1010	1010	10	10	220
藥品・染料・其他化學製品	135	1010	1010	10	10	220
織 物 各 種	135	1010	1010	10	10	220
衣類・組糸裝飾類及ビ傘	135	1010	1010	10	10	220
加工 金 屬 類	135	1010	1010	10	10	220
竹 木 製 品	135	1010	1010	10	10	220

次ニ輸出貨物ニ關シテハ、前ニ述ベタル如ク、椰子核・高瀬貝・海參及ビ少許ノ鼈甲ヲ出スニ過ギズ、今一九一三年度ニ於ケル輸出額ヲ示セバ左ノ如シ。

品目	數量	價格	品目	數量	價格
椰子核	10,300馬克		海參	1,350馬克	
高瀬貝及ビ其他ノ貝類	110,000近		鼈甲	三頭	六馬克

(註) 參考ノタメ南洋諸島ニ於ケル獨逸政廳ノ關稅定率表ヲ左ニ掲ゲベシ。

番號	品目	輸入稅	備考
----	----	-----	----

一	葉卷煙草	一千本ニ付 二・〇〇〇馬克	葉卷及紙卷煙草一千本未滿ノ相當分數額ヲ徵收ス
二	紙卷煙草	同 一・〇〇〇馬克	
三	煙草及別項ニ掲ゲサル各種煙草製品	純量一近ニ付 三・〇〇〇馬克	風袋割戻額百分ノ二十

四	(イ) 酒精飲料・火酒各種酒類酒類 (ロ) 南地產葡萄酒・甘味葡萄酒 (ハ) 沸騰性ヲ有セル葡萄酒類	ニ付 二・〇〇〇馬克 同 一・二五馬克	摺詰輸入ノ場合ニ於テ各飲料一種類ニ付百區以上ヲ申告スル時ハ破損割戻額百分ノ五
---	--	------------------------	--

五	別項ニ掲ゲサル各種葡萄酒類	同 〇・六〇馬克	摺詰輸入ノ場合ニ於テ各飲料一種類ニ付百區以上ヲ申告スル時ハ破損割戻額百分ノ五
六	各種麥酒	同 〇・二〇馬克	
七	林檎酒及其他ノ果物酒	同 〇・二五馬克	
八	特ニ免稅品ト指定セラレザル各種物品	從價百分ノ十	

番號	品	輸	出	稅	率	番號	品	目	稅	率
----	---	---	---	---	---	----	---	---	---	---

一	コ	ブ	ラ	一噸(千担)ニ付	一〇・〇〇	四	龍	甲	殼	一箇ニ付	一〇・〇〇
二	海	參	丙乙甲	同	同	五	眞	珠	ナ	含ム	貝殼
				同	同						(甲)眞珠貝一箇ニ付 一〇・〇〇
				同	同						(乙)其他ノ貝殼同 一〇・〇〇
				同	同	六	剝	製	極	樂	島及其羽毛等 一箇ニ付 二・〇〇
				同	同	七	剝	製	王	冠	鳩及其羽毛等 同 〇・五〇

第一・第二・第五ニ付一千延未滿ノ端數ニ對シテハ定率稅額ノ相當分數額ヲ徵收ス

(ハ)物價・貨銀及貨幣 從來獨逸政廳ハ商人等ノ競争ヲ避ケジムルト共ニ、又本島ニ於ケル產物

買集ノ關係上、商店ヲ西かろりん會社(資本金四十萬馬克ノ株式會社ニシテ本店ハ漢堡ニ在リ、四十萬馬克ノ資本金身ト稱スルモ不可ナシ、食料品及ビ雜貨ノ輸入販賣ト本島產物ノ輸出ヲ業トス、一九一一年設立)及ビ南洋貿易株式會社(最近マダ資本金拾五萬圓ナリシモ、近時増資賣ト本島產物ノ輸出ヲ業トス、食料品及ビ雜貨ノ輸入販賣ト本島產物ノ輸出ヲ業トスル點ニ於テハ西かろりん會社ト大差ナシ)ニ制限シ、是等ノ兩會社モ亦互ニ競争スルノ弊ヲ防止センガタメニ、輸入貨物ニ對シテハ豫ジメ協定のニ左ノ價格ヲ定メテ政廳ノ認可ヲ受ケ、若シ之ニ違反スル時ハ、五百馬克ノ罰金ヲ科セラルベキコトナセリ。

品目	數量	賣金	椰子實	品目	數量	賣金	椰子實
米	二十五斤	馬克價 五・〇〇	交換高價 五・〇〇	牛刀	十八吋	馬克價 五・〇〇	交換高價 五・〇〇
鋤	一鋌	五・〇〇	五・〇〇	食卓ナイフ	一本	一・〇〇	一・〇〇
日本製燐寸	一包	二・〇〇	二・〇〇	油	一罐	八・〇〇	八・〇〇
濠洲牛肉	一斤	一・〇〇	一・〇〇	土人用鑿	一時	八・〇〇	八・〇〇
黃父ハ紅金巾	一ヤード	五・〇〇	五・〇〇	同	一時三分	一・五〇	一・五〇

鮭	罐詰	一斤	1.00	100	同	一時四分ノ三	2.00	300	斧	(大)	一	鉋	8.00	800
棒	煙草	一ポンド	1.00	100	同	二時	1.00	300	同	(中)	同		6.00	600
牛	刀	五時	0.50	50	同	二時三分ノ一	1.00	300	同	(小)	同		7.00	700
同	六時	0.50	50	同	三時	1.00	300	同	鍊	乳	一	罐	1.00	100
同	八時	1.00	100	半月形鑿	一時	1.00	300	同						
同	十五時	1.00	100	同	一時二分ノ一	1.00	300	同						

以上ハ一般土民ニ對スル小賣價格ニシテ、若シ商店ノ何レカ一方ヨリ、該協定ヲ廢棄セントスル時ハ、三箇月以前ニ其ノ旨ヲ通告スルヲ要シ、又協定外ノ貨物ニ對シテハ、各自自由ニ其ノ價格ヲ定メツツアリ。

次ニ商店ノ購入スル貨物ハ椰子核・高瀬貝及ビ海參ヲ主トシ、其ノ購入價格ノ標準ハ凡ソ左ノ如シ。

土民ヨリ直接購入スル場合ニハ
椰子核 ちやむろ人ヨリ購入スル場合ニハ 一噸平均 百二十馬克
外人(栽培者又ハ買集者)ヨリ購入スル場合ニハ 同 二百五十馬克

(註) 椰子核ハ我が國ニ於テハ從來横濱魚油會社ニ賣却ノ契約アリ、横濱迄ノ運賃ハ一噸平均二十馬克輸出税ハ一噸十馬克ニシテ、賣却價格ハ一噸平均貳百圓内外ナリト云フ。

高瀬貝 普通土民ニ食料ヲ供シ小舟ヲ貸與シテ採取セシメ、十箇平均十五布内外ノ割合ヲ以テ購入ス。

(註) 高瀬貝ハ主トシテ大阪方面ニ輸出セラル、運賃ハ椰子核ト大差ナク、輸出税亦一噸十馬克ニシテ、賣却價格ハ一噸平均參拾圓内外ナリト云フ。

海參 一等品ハ一斤(英斤)平均 二十四布 二等品ハ一斤(英斤)平均 十六布
三等品ハ一斤(英斤)平均 十二布

〔註〕海參ハ香港方面ニ輸出セラル、運賃ハ同地迄一噸平均十五馬克輸出税ハ品質ニ應ジ一噸三十馬克乃至百馬克ニシテ、賣却價格ハ一噸平均六十弗内外(香港相場ナリト云フ)。

政廳自ラ商店又ハ土民ヨリ貨物ヲ購入スル場合ニハ、固ヨリ前掲ノ標準ニ據ラズシテ、別ニ購入價格ヲ定ム、即チ左ノ如シ。

- (一) 輸入貨物ノ購入價格ハ原價ニ運賃ヲ加ヘタルモノノ二割五分増トシ、
- (二) 土民ノ貨物ノ購入價格ハ左ノ標準ニ據ル。

雞卵一箇五布 雞一羽五十布 生豚一頭三十布 魚類一籠二十布 薯又ハ南瓜一籠二十布 柑類一籠二十布 バナナ一房二十布。

土民ノ生活狀態ハ極メテ劣等ナリト雖トモ、彼等ノ勞力ハ比較的高價ニシテ、通常壯年男子ノ一日ノ賃銀ハ一馬克ナルモ、若シ雇主ニ於テ食料ヲ給スル時ハ五十布ナリトス、是レ彼等遊惰ノ民ニトリテハ、勞働ハ一ノ重大ナル苦痛タルト共ニ又彼等ノ賃銀ニヨリテ購ハントスル貨物ハ、前掲ノ如ク頗ル不廉ナルニ原因セズンバアラズ、加之獨逸政廳ノ土民ニ對スル政策トシテモ、彼等ヲシテ賤メテ勞働ニ從事スルノ風ヲ養成セシメンガタメニ、之ヲ誘フニ比較的高價ナル報酬ヲ以テスルモ、他方ニ於テハ雇主(多クハ貨物ノ供給者)ノ之ニ因リテ受クル不利益ヲ償ハシメンガタメニ、貨物ノ價格ヲモ亦比較的高價ナラシメントスルノ主義ヲ採リタルニ由ル。

貨幣ニ關シテハ從來本島ニハ土語「フエ」(Fue)ト稱スル圓形ノ石貨行ハレ、其ノ大ナルモノハ直徑二米以上ニ及ビ、中央ニ穴ヲ穿チテ運搬ニ便ナラシム、該石貨ノ材料ハ海上約二百六十哩ヲ

隔ツルばら島ニ於テ産スルヲ以テ、やつぶ土民ハ自ラ該島ニ出張シテ製作ニ從事シ、然ル後之ヲ自島ニ運搬スルモノニシテ、其ノ形狀大小及ビ運搬ニ要シタル勞力ノ多少ニ依リテ價格決定セラル、即チ往昔交通ノ不便ナリシ時代ニ、刳舟^{カヌー}ニ依リテ運搬セラレタルモノハ其ノ形チ小ナリト雖トモ、後年汽船ニ依リテ運搬セラレタルモノニ比シテ、遙カニ高價ナルガ如キ是レナリ、然レトモ現今ハ實際上ニ於テハ石貨ヲ使用スルコトハ稀ニシテ、多クハ一種ノ貴重品トシテ、土民集會所ノ前庭ニ陳列セラルルニ過ギズ、唯時トシテ土地又ハ刳舟^{カヌー}ノ如キ高價ナル財産ノ賣買讓渡ニ際シ、其ノ對價トシテ彼等ノ間ニ使用セラルルヲ見ルノミ。石貨ニ次グモノハ貝貨ニシテ、貝貨ハ蝶貝ヲ以テ作り、拇指ト中指トニヨリテ大サヲ測リ價格ヲ決定ス、但シ其ノ形ノ小ナルモノハ椰子繩ヲ以テ數箇ヲ連續シテ之ヲ使用ス。其ノ他芭蕉布及ビ椰子繩ノ如キモ、土民間ニ在リテハ一種ノ貨幣ノ代用物タルモ、近時ハ一般ニ金屬貨幣殊ニ銀貨ノ價值ヲ了解シ、獨貨ヲ使用スルノ風漸ク盛ントナレリ。